

選手・チーム役員・応援および保護者配付用 感染拡大防止ガイドライン

本ガイドラインは、「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」(日本中学校体育連盟)及び「新型コロナウイルス感染症状況下での安全なハンドボール競技活動について～選手・スタッフ・関係団体のためのガイドライン～2020.0604 初版」((公財)日本ハンドボール協会)等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

本ガイドラインは、第50回関東中学校ハンドボール大会の開催に当たって作成しております。また、今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに留意ください。

1 大会開催における基本的な実施判断基準について

- ・大会開催にあたっては、大会実行委員会および会場施設の方針に従う。
- ・体育館内では、換気など適切な感染防止対策を講じた上で実施する。

2 大会参加申込時の留意事項

主催者は、感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求める。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会への参加を取り消したり途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。

(1) 保護者の同意

- ・所属校責任者の確認事項
 - (ア) 大会に参加する選手とその保護者が、事前に本ガイドラインをもとに感染症対策への同意を得ていることを同意書にて確認する。(様式1-1「大会参加同意書」)
 - (イ) 「大会参加同意書」に必要事項の記載と保護者の押印をして、大会受付にて提出する。
- ・感染の不安から参加を希望しない選手については、無理に参加させない。このことについては、全ての指導者に対し周知する。

(2) 体調管理

- ・参加選手及び会場に入るすべてのチーム役員等は、大会前後2週間分の体調を「体調記録表」(様式2)に記録し、健康管理を徹底する。(各校で使用しているものがあればその用紙を使用する)
- ・「健康観察表」(様式3-1)に大会前2週間の体調を確認し、保護者が署名捺印を行う。
- ・大会当日の体温や体調を「健康観察表」に記入する。
- ・引率責任者は、「健康観察表」をもとに、「大会参加チーム健康チェックリスト」(様式4)を作成する。
- ・参加チームは入館時に、「大会参加チーム健康チェックリスト」とともに「健康観察表」を提出し確認を受ける。「健康観察表」を忘れた選手、「大会参加チーム健康チェックリスト」を忘れたチームの参加は認めない。当日の体温を測ってこなかった者に対しては、大会当日の受付にて非接触式体温計で検温し、問題なければ入場を認める。

- ・勝ち上がった場合、個人の「健康観察表」は、退館時受付にてチーム役員に返却するため、チーム役員は受付にて、帰宅することを申し出て「健康観察表」を受け取る。敗退した場合、個人の「健康観察表」は、大会実行委員会に提出したまま帰宅する。
- ・「大会参加チーム健康チェックリスト」は、会場施設に提出するもののため、参加日ごとに提出して、会場施設の預かりとなる。

(3) 参加不可となる条件

以下の事項に該当する選手やチーム役員等は、大会に参加できない。(大会当日に「健康観察表」「大会参加チーム健康チェックリスト」で確認を行う)

- ・体調がよくない場合(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
保健所等の判断で「コロナウイルス感染症ではない」との診断があれば出場を認める。ただし、当日 37.5℃以上の発熱をしている場合は、出場及び入場を認めない。
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触があると判断された場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・新型コロナウイルス感染症による休校措置、学年閉鎖・学級閉鎖の学年・クラスに該当している選手及び教職員。

3 大会参加者が準備・実施すべき事項

(1) 参加者が行う感染拡大防止

- ・マスクの着用
参加選手を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用する。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外す。)
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。また、手を拭くためのマイタオルを持参する。特に、入館時のアルコール消毒、試合や食事の前後の手洗いを必ず行う。
- ・飲食物やタオルは個々に用意し、応援または保護者等で配付をしたり共用したりしない。
- ・競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保する。(できるだけ2mを目安に、最低1m)大会中は大きな声での会話、応援等をしない。
- ・感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従う。

(2) 大会運営に関する事項

【開閉会式について】

- ・開閉会式は行わない。※開始式を監督会議後、表彰式を最終日に行う。

【入館について】

- ・チーム入館時刻は、前の試合開始時刻とする。いずれも、チームでまとまって入館する。
- ・チーム役員は入館時に、「大会参加チーム健康チェックリスト」とともに「健康観察表」を提出し確認を受ける。初日のみ、選手およびチーム役員の大会参加同意書を提出する。
- ・競技終了後は、40分以内に退館する。原則として、チーム一斉退場後の再入館は認めない。

【観客について】

- ・原則、競技に参加する選手および出場校の関係者（選手、監督、コーチ、トレーナー、ビデオ撮影者各試合2名）のみが入館できる。

【競技中の注意事項】

○プレー中も選手、役員等同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮する。

チーム役員は、このことをチームに周知し徹底を図る。

- ・ウォームアップ中は、(特に集団で)大きな声を出さないようにする(集団走は控える)。
- ・試合前などの円陣やベンチでの集合時においても、できるだけ密集・接触を避ける。
- ・競技前に仲間と手をつないだり肩を組んだり、ハイタッチをする等の円陣は禁止する。
- ・競技中、靴底を手で触らない。
- ・ベンチでは離れて座る。必要以上の私語は慎む。
ベンチ幅は椅子の間隔を保つため、主催者が定めた競技規則外の幅で設置する。
- ・タオル、水ボトルなどの共用は禁止する。

【用具等の消毒について】

- ・チェンジコートの際、使用したベンチを競技役員で消毒する。両チームベンチの消毒が終わってから交代したベンチを使用する。
- ・試合終了後も使用したベンチの消毒を競技役員が行う。
- ・次チームは競技役員による用具の消毒等が終わった後、指示にしたがいコートに入る。

【大会中の健康管理】

- ・チーム責任者は、選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時までこまめに選手の健康観察を行う。
- ・全会場、冷房を使用するが気温が高いため熱中症予防にも十分配慮し、こまめに水分補給などをする。
- ・自チームの試合終了後、チーム役員は選手等の健康観察を口頭等で行う。
- ・選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、チーム責任者は保護者と確実に、速やかに連絡が取れる体制を構築しておく。

【その他】

- ・会場内の移動は、密を避けるため各会場の指示に従う。
- ・トイレ等は、定められた場所を使用する。(選手は原則2階のトイレを使用する)また、選手が密となりえる集団となってトイレを使用しないよう配慮する。
- ・観客席は、着席した際に一定の距離が保てるよう、荷物の置き方など配慮する。
- ・通路の手すりや壁に触れないように移動する。また、通路やトイレでは必要以上の時間立ち止まるなどして、歩行者との接触がないように注意する。

4 主催者が準備・実施すべき事項

(1) 手洗い場所

- ・石鹸(ポンプ型)、手洗いに関するポスター、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

- ゆとりを持たせることが難しい場合は、入室する人数を制限する等の措置を講じる。
- 換気扇を常に回す、窓を開ける等換気に配慮する。
- 控え室等を使用する際は、入退室の前後に手洗い又は手指消毒を行う。

(3) 飲食

- 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
- 飲食場所は観客席のみとし、広さにゆとりを持たせ他の者と密にならないようにする。
- 飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめ（原則、私語禁止）にするよう指導する。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないように指導する。
- 選手等の飲食はチーム役員の責任においてさせるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせる。

(4) ゴミの廃棄(ゴミは持ち帰りが原則)

- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、個人が準備した袋に入れて密閉し縛った上で持ち帰らせる。
- 万が一ゴミを回収する際には各チームで準備したマスクや手袋を着用し、鼻水、唾液等が付いたゴミは各チーム持参のビニール袋に入れて密閉し、処分する。

(5) その他

- 公共交通機関を利用する場合は、マスクの着用を徹底し、近距離での会話を控え、会場（自宅・宿泊施設）到着後は、顔をできるだけ触らずに、速やかに手を洗う。

5 当日の受付時の留意事項

- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある人は入場しないように呼び掛けること。
- 参加者がマスクを準備しているか確認をすること。

6 参加選手またはチーム役員(関係指導者)の感染が判明した場合の対応

(1) 大会前

- ① 当該参加選手とチーム役員は、濃厚接触者と特定された場合の出場(入場)は認めない。

(2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状を訴える参加選手を確認した場合は、保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させ、医療機関に電話等で相談するように指導する。
- ② 上記①の選手からの聴取により、対面して一緒に食事をした等の接触があった者についても念のため会場内における諸活動を中断させ、保護者に迎えに来てもらい帰宅させる。
- ③ 上記①によって帰宅した選手については、翌日以降の参加を見合わせる。

(3) 大会後

1 4日間は健康観察記録を継続し、感染者が出た場合は所属する学校や行政機関の指示に従う。
また、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

- ① 感染者が発生した場合、感染者を特定しようとすることやSNS等で誤った情報を発信することのないよう、全ての関係者に対して指導する。